



福島に"つながる"弁当

第一号



「麓山高原豚」の あまから焼き弁当

はやまこうげんとん

20年以上続く福島特産 ブランド豚「麓山高原豚」

平成2年から福島でこ
だわりのブランド豚とし
て育てられてきた麓山高
原豚。その生産振興協議
会会長の石井友幸さんに
お話を伺った。

麓山高原豚への こだわり

「生産開始から二十一年
目を迎えた年に震災が起
きました。生産を止めて
はいけないと全国から飼
料をかき集めたんです。
しかし、自分たちで決め
たブランド基準の飼料は
揃いませでした。」



そこで専用飼
料が届くまで、
「ふくのくに豚」
の別名で販売す
ることにしまし
た。こだわりだ
けは捨てたくな
かったんです。
通常出荷で
きるようになっ
た今も、厳しい
品質チェックの
め、生産量の7
割ほどしか「麓
山高原豚」と名
乗れない。この
こだわりこそ質
の高い豚肉の秘
密



写真右：麓山高原豚生産振興協議会 会長 石井友幸さん
写真左：JA全農福島畜産部畜産販売課 地区担当課長 嶋原久雄さん

いざ……！全国へ！！

「実は震災後に福島県外でこの豚
肉を販売するのはこのお弁当が初め
てなんです。今後は全国のお客様に
も麓山高原豚を味わってほしいす
ね。」笑みをこぼし、未来への希望を
語ってくれた石井さんの目は確かに
未来を見据えていた。

〈ご挨拶〉未来へつなぐ

ふくしま復興塾を通じて、福島県の農業現場を巡りました。そこで見たものは、震災や風評被害にも負けず、力強く未来に向かって突き進む生産者の皆様のひたむきな姿でした。その想いを少しでも多くの方に伝えること、それが私達の使命となりました。一方で生産現場が抱える課題も見えてきました。新商品や加工品の開発、この過程には日本人でも多くの消費者の「声」が必要でです。このお弁当は被災地支援だけを目的にするのではなく、福島で起きている未
来への希望と皆様が「つながる」機能を果たしていきます。

お弁当1個につき50円が被災地の復興支援活動に寄付されます。

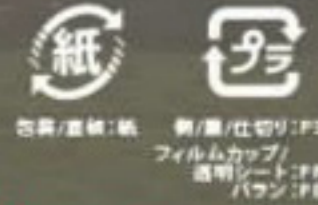
facebookを通じて「つながる」

実際に食べてみての感想・加工品製造へのアドバイスなどありましたら下記Facebook ページへコメントお寄せください。

facebook

つながる弁当

検索



お早めにお召し上がりください。